

木島 NST 通信 **冬号**

発行日：2019年2月発行

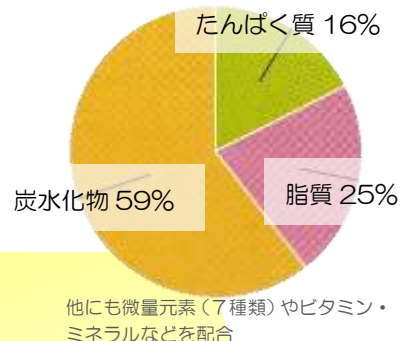
担当：NST

編集：栄養グループ

その栄養、本当に合ってる??

経腸栄養剤（栄養調整食品）は糖質、脂質、たんぱく質など五大影栄養素をバランスよく調合していますが、食品と違い、余計なものが入っていない“ピュア”なもの・・・だからこそ、口から様々な食品を摂っている方とは異なり、**逆に栄養素が不足してしまう可能性**があります

経腸栄養剤のエネルギーバランス
(参考)メイバランスR



経腸栄養=『強制栄養』

経腸栄養とはすなわち患者の意思に関わらず強制的に行う栄養・・・あくまで強制的に行っている栄養法であるということを理解し、食事を自由に選ぶことができない経腸栄養の方への食事は、日々、我々医療従事者が、「**本当にこの栄養はこの方に適しているのか?**」と疑問を持って栄養管理に取り組むことが必要です

定期的な血液検査で栄養状態や電解質・微量元素（特に亜鉛やセレン等）を確認し、きめ細やかな栄養管理を!

(※定期採血は1ヶ月に1回程度がベスト)

NEW



よりきめ細やかな栄養管理を目指すため、平成31年1月より新たな経腸栄養剤を導入しました!

「メイバランスR ブラウン ((株)明治)」

1パックあたり カロリー：500kcal たんぱく質：20g 水分：500ml

こんな方へお使い頂けます⇒

- ・高カロリーを投与したい
- ・水分を制限または調整したい
- ・細やかなカロリー調整を行いたい

▼メイバランスR ((株)明治) 種類別投与時間一覧

メイバランスR	ホワイト	イエロー	ブラウン
内容量(水分量)	431ml(400ml)	562ml(500ml)	578ml(500ml)
熱量	200kcal	400kcal	500kcal
1P投与時間(推奨)	90分以上	180分以上	220分以上

(※投与速度・時間は濃度によって異なるため注意しましょう!)

薬剤部からのお知らせ

下剤と経腸チューブの関係

最近、経腸栄養のチューブが詰まる・・・

なんか胃ろうのところに白い塊みたいなものがある・・・??

・・・最近、こんな声を病棟で耳にしていますか？

それ、原因は「酸化マグネシウム 細粒」かも!?

薬剤部で調査したところ、多くの対象の患者に「酸化マグネシウム」が処方されていることがわかりました

「酸化マグネシウム」は『錠剤』であれば簡易懸濁(55℃)で問題なく溶解することができますが、『細粒』になると同じ水温では表面のコーティングが溶解せず(水温37℃以下は可)、チューブや胃ろう部に付着物が見られる場合があります

これがチューブや胃ろう部の閉塞に繋がる可能性があり、薬剤部では経腸栄養の方へは酸化マグネシウム『細粒』から『錠剤』への切り替えを勧めています

チューブ等を閉塞させないためにも、今後は薬剤の特性がそれぞれ異なることを理解し、不安な時は薬剤部に相談!

病院全体で経腸栄養患者への薬剤投与に注意を払っていきましょう!

△
37℃以下で溶解



○
温度の指定なし

(ヨシダ製薬製品情報 HP より)

今年度も終わりに近づき、NST本格始動より約3年が経とうとしています

今回は、今年度NST介入した方々を項目別に抽出し集計を行ったため、ご報告させていただきます

今回、最も介入が多かったのは“絶食”で、続いて“低Alb血症”“経腸栄養”という項目が挙げられました

“絶食”の理由は様々ですが、たとえ絶食となっても、パレプラスや脂肪乳剤など、積極的に水分だけではなくカロリー(栄養)も補おうという傾向になりつつあり、年々、病院全体で栄養に関心のあるスタッフが増えている印象です

また、以前より経腸栄養への抵抗感が薄れ、高齢化に伴う嚥下不良や、一時的な精神状態の悪化による食事摂取不良時にも積極的に取り入れられるなどの変化が見られるようになりました

この結果に基づき、今後もNST活動に尽力して参りたいと思います



1位 **絶食**

2位 **低Alb血症**

3位 **経腸栄養**

平成三十年度
木島NST
介入項目別ランキング